



人・自然・伝統 与謝野で織りなす 新たな未来

YOSANO

広報よさの

No.195

5

2022

今月の表紙

旧加悦鉄道 2号蒸気機関車

● 主な記事

- 02 与謝野町の近代化遺産「旧加悦鉄道」
- 04 山添町長、まちづくりへの考えを語る
- 07 与謝野町高校魅力化ビジョン策定

たくさんの応援
ありがとうございました！

2号機関車など3車両を風雨から守る車庫建築には、ふるさと納税のガバメントクラウドファンディングを活用。結果、81件207万2,600円のご寄付と温かいメッセージをいただきました。また、日本冶金工業株式会社様、株式会社丸嘉様から企業版ふるさと納税をいただくなど、多くの方に応援をいただき完成しました。

寄せられたメッセージ

- 都会の博物館でなく「加悦で残っている」ことに意義があると考えます。
- 加悦S L広場がなくなってしまったのは残念ですが、思い出の車両だけでも残す努力をしていただきありがとうございます。
- 加悦鉄道は貴重な財産です。大切に保存してください。
- S Lが再び子どもたちの人気者になるといいですね。関東在住ですが、機関車好きの息子と訪れたいと思います。



① 旧加悦鉄道加悦駅舎に搬入される2号機関車 ② 慎重に車両を仮設レールに乗せる作業員 ③ 搬入された2両の木造客車 ④ 加悦鉄道株式会社の社印（「力」が8つ並んでいる） ⑤ 住み慣れた加悦S L広場を離れる2号機関車 ⑥ 日本冶金工業株式会社製のステンレスで制作された車両説明版



2号機関車、加悦駅に到着

大正15年、住民の夢と希望を背負い開業した加悦鉄道。昭和60年まで住民の移動だけでなく丹後ちりめんや太平洋戦争中のニッケル鉱石輸送など、加悦谷の地を駆け抜けました。廃線後、活躍した車両は加悦S L広場で保存展示されていましたが、令和2年3月末に惜しまれながら閉園。しかし、貴重な加悦鉄道遺産を次世代に残すため、123号蒸気機関車（旧加悦鉄道2号蒸気機関車）など3車両を町が譲り受け保存することになりました。加悦鉄道はどんな鉄道だったのか、歴史を振り返ります。

悲願だった鉄道の開通

加悦谷の地は、地理的に交通や輸送面で恵まれていませんでした。特に価格変動の激しい丹後ちりめんを迅速に京都市場へ輸送することは、長年の課題でした。

「京都府山田ヨリ兵庫県出石ヲ経テ豊岡ニ至ル鉄道」。大正11年、住民の悲願だった鉄道による丹後ちりめんの輸送手段が、国によって敷設することが決定しました。しかし、大正12年9月1日、未曾有の関東大震災が発生。国は現地測量図と関係図書の一切を失ったため、鉄道敷設を断念せざるを得ませんでした。

住民の力で鉄道を敷設

国による鉄道敷設の夢が途絶えた後も、住民たちは諦めませんでした。経験のある技師に鉄道敷設の設計と測量を依頼し、車両などは中古品を採用することで30万円（現在の約1億8200万円）の建設費があれば鉄道を走らせることが可能と試算。その後、住民を中心に投資者を募り、823人の全額出資による加悦鉄道株式会社を設立しました。大

正15年12月5日に、丹後山田駅（現与謝野駅）ー加悦駅間の5.3kmを結ぶ加悦鉄道が開通。この開通により、丹後ちりめん輸送の効率が上がり、丹後地域は後に織物産地として全盛期を迎えることとなりました。

震災・戦争を経験した鉄道

加悦鉄道は、震災・戦争など苦難な時代を経験した鉄道でもありません。開業からわずか3ヵ月後の昭和2年3月7日、丹後大震災が発生。丹後四辻駅が焼失、三河内駅は倒壊、線路は全線にわたり被害を受けました。数日後には運行を再開し、建築資材や生活物資の運送など、地域社会の復興に大きく貢献しました。

また、太平洋戦争期には、大江山から採掘されたニッケル鉱石を輸送するため、経営を大江山ニッケル鉱山（現日本冶金工業株式会社）に移

近代化遺産を次世代へ

廃線後、加悦鉄道遺産は、私たちの生活の中に残っています。線路敷は自転車専用道路として整備され、加悦駅舎は加悦鉄道などの鉄道遺産の資料館に。また、車両は、加悦S L広場で運営会社と特定非営利活動法人加悦鉄道保存会の皆さんの努力により大切に保存されてきました。

今般、加悦S L広場の閉園に伴い、国重要文化財123号蒸気機関車、木造客車のハブ3とハ4995の3車両を町が譲り受け、旧加悦鉄道加悦駅舎敷地内で保存展示し、貴重な近代化遺産を次世代へ受け継いでいきます。





と、昨年度に実施した地域経済構造分析調査に基づく施策を具体的に動かしていきます。また、新産業の創出については、事業者の皆さんの並々ならぬご尽力によって、一歩一歩進んでいます。事業者主体の新産業の創出となるように、伴走支援を

り組めなかった施策があったことは反省点です。2期目の反省点をいかしながら、3期目の公約に基づく町政運営を推進していきます。

新しいまちづくりには、住民の皆さんが豊かに暮らしていくためには、安心で安全なまちづくりが重要だと考えています。感染症や災害から住民の皆さんを守るまちづくりを推進するには、日ごろから道路や河川の維持管理、地球温暖化に対する啓発などを行っていかねばなりません。河川の浚渫など一つの事業を関係機関と連携を図りな

がら実行していきます。また、子育て環境の充実として、野田川地域の認定こども園の新築開設に加え、出産準備金制度の創出について検討します。出産にかかる費用は、全国平均で50万円程度かかると言われています。国民健康保険や社会保険で、一定の財政的支援がありますが、さまざまなご家庭の話を聞き、まだまだ財政的な支援が足りていないと聞かれます。夫婦が子どもを望まれたとき、2人目、3人目をと思われるときに、経済的にハードルが高いこともあると思いますので、1人当たり出産準備金10万円を提案しています。今後、具体的な措置として講じることができるよう調整を図っていきます。

⑤ 与謝野力の向上を実現する

住民の皆さんが生涯にわたって学び続けることができるまちづくりを進めていくことが、地方創生の道筋になると考えており、学校教育や社会

① 新型コロナウイルス感染症から命と生活を守る
何よりも大切なことは、住民の皆さんの健康を支えることです。この間オミクロン株の急速な感染拡大に対応していくため、政府や京都府は従前の方針を転換しています。例えば、PCR検査については、これまで積極的疫学調査に基づく検査体制の充実というところを掲げられていましたが、この役割を一部市町村が担うことになりました。今後の状況変化によって、市町村が

② 経済成長を実現する
与謝野町は中小企業のまちで、さまざまな業種の事業所が存在しています。中小企業者の皆さんと共に経済成長を実現していくことは、地域の持続的な発展につながっていくと考えています。平成24年度に策定した「与謝野町中小企業振興基本条例」の見直し

③ 多様な交流を実現する
交流は人と人を結び付けて、それぞれが豊かになり新しい価値を生んでいく土台になる要素があることから、多様な交流をより一層充実させていきます。具体的には、地域内の交流、移住定住の促進、国外の関係団体との交流、観光産業を強化していきます。中でも移住定住は、昨年度、過去最高の12世帯34人の方が本町の制度を活用して移住されました。コロナ禍において、

④ 安心安全を実現する
新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえて、住民の皆さんが豊かに暮らしていくためには、安心で安全なまちづくりが重要だと考えています。感染症や災害から住民の皆さんを守るまちづくりを推進するには、日ごろから道路や河川の維持管理、地球温暖化に対する啓発などを行っていかねばなりません。河川の浚渫など一つの事業を関係機関と連携を図りな

がら実行していきます。また、子育て環境の充実として、野田川地域の認定こども園の新築開設に加え、出産準備金制度の創出について検討します。出産にかかる費用は、全国平均で50万円程度かかると言われています。国民健康保険や社会保険で、一定の財政的支援がありますが、さまざまなご家庭の話を聞き、まだまだ財政的な支援が足りていないと聞かれます。夫婦が子どもを望まれたとき、2人目、3人目をと思われるときに、経済的にハードルが高いこともあると思いますので、1人当たり出産準備金10万円を提案しています。今後、具体的な措置として講じることができるよう調整を図っていきます。



4月10日執行の与謝野町長選挙で3選を果たした山添藤真町長。18日には初登庁し、山添町政3期目の挑戦がスタートしました。人口減少やコロナ禍による地域経済の低迷などさまざまな課題を抱える中、7つの基本政策を掲げる山添町長に3期目に臨む今の心境とまちづくりへの考えを聞きました。

美しいまちを次世代に

山添町政、3期目の挑戦

2期目を振り返る

——2年間、新型コロナウイルス感染症対策を中心に取り組まれてきました。振り返っていかがでしょうか。

7つの基本政策

——選挙では「7つの基本政策」を掲げられていました。特に重点を置く政策についてお聞かせください。

大きな成果としては、新型コロナウイルス感染症対策を全職員、そして住民の皆さんと協働して取り組むことによって、町内の感染拡大を一定抑えられたことです。また、社会活動や経済活動については100%戻っている状況ではないですが、できる限り住民や事業者の皆さんを支えられたことも成果だと認識しています。

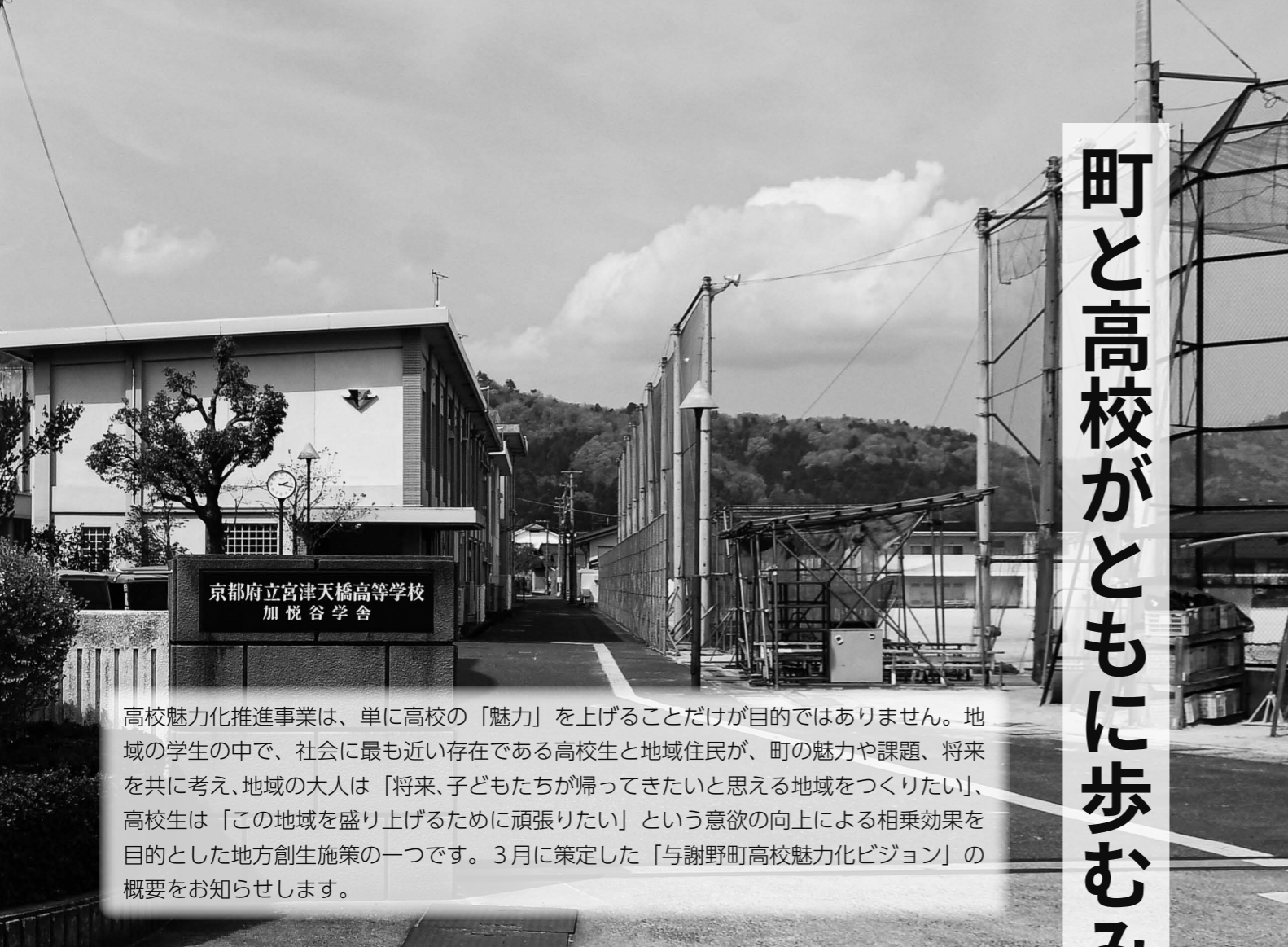
——選挙では「7つの基本政策」を掲げられていました。特に重点を置く政策についてお聞かせください。

充実にも率先して取り組みます。子どもたちに優しい社会は、高齢者の皆さんにも優しい社会と言えます。子育て環境を充実させることによって、すべての住民の皆さんの日常生活を下支えしていきます。



令和3年12月に開園したつばきこども園

※ 本記事は、4月14日（木）の与謝野町有線テレビ収録をもとに編集しています



町と高校がともに歩むみらい

高校魅力化推進事業は、単に高校の「魅力」を上げることが目的ではありません。地域の学生の中で、社会に最も近い存在である高校生と地域住民が、町の魅力や課題、将来を共に考え、地域の大人は「将来、子どもたちが帰ってきたいと思える地域をつくりたい」、高校生は「この地域を盛り上げるために頑張りたい」という意欲の向上による相乗効果を目的とした地方創生施策の一つです。3月に策定した「与謝野町高校魅力化ビジョン」の概要をお知らせします。

加悦谷学舎は府立高校です。町は関係ないとの見方もできますが、高校はその町にとって財産であり、生命線でもあります。文部科学省の統計によると、この15年間で1000を超える公立高校が廃校になっています。民間の

町における高校の価値

与謝野町では、平成29年度から町内唯一の高校であり、町の最高学府である加悦谷高校・宮津天橋高校加悦谷学舎（以下、「加悦谷学舎」との協働による学びづくりを進めてきました。令和元年度からは、魅力化コーディネート常駐配置するなど、関係性の強化に努めてきました。今回、これまでの取り組みを検証し、今後の持続可能な協働を目指すため「与謝野町高校魅力化ビジョン」を策定しました。

区分	見込まれる効果・影響
高校がある町	<ul style="list-style-type: none"> □ 小学生に、身近な大人・先輩としてのモデルを示すことができる □ より多くの熟量人口・将来の地域貢献人材を育成できる □ 人づくりの町として移住定住を呼び込むことができる □ 町づくりの参画者としての可能性を引き出すことができる □ 距離的な近さなど、すべてにおいて便利で有利な環境が確保できる □ 地域の子どもは地域で育てるといふ誇りある教育を展開できる □ 広域連携行政が進展しても地域の存在感を示すことができる
高校がなくなった町	<ul style="list-style-type: none"> ■ 町の熱量を伝える機会の喪失 ■ 人口減少の加速 ■ 地域活力の低下、地域が大切にしてきた歴史文化の衰退 ■ 財政支援（通学補助・奨学金等）の必要性の増大 ■ 教育の空洞化・二極化の進展 ■ 広域連携行政推進における地域の存在感の希薄化

研究機関の報告によると、高校がある町と高校がなくなった町の比較と検証をした結果、高校がなくなった町の方が人口減少は加速しています。逆に、地元の高校を町がいかすという政策を推進した町では、数千円単位の経済効果とUターン率の上昇を実現したという事例もあります。

⑥ 持続可能な環境を実現する
持続可能なまちづくりを推進するため、今を生きる私たちは常に将来のことを考えさまざまな取り組みを進めてきました。今後もその姿勢を維持しながら、持続可能な環境や誇れる町を次世代に継承していきたいと考えています。そのためにも、環境保全活動

教育の充実、文化芸術の推進を図っていきます。
学校教育については、与謝野町教育大綱に基づきICT教育や文化芸術を通じたコミュニケーション能力の向上などの取り組みを行ってきました。中でもICT教育を充実させることは、個別の習熟度に合わせる教育を可能にすると思われています。一人ひとりの児童・生徒の習熟度に合わせたICT教育を活用することによって学力の向上、さらには意欲の育成などにつながると考えていますので、より一層の充実を図っていきます。

⑦ 前向きな町役場を実現する
これまでの6つの基本政策に基づく施策を実現していくためには、町役場が前向きでなければなりません。近年、複雑多様化する社会の中で、住民の皆さんのニーズも変化しています。以前のように

はもちろんのこと、行財政の健全性を確保することも重要です。
与謝野町の財政状況は、国からの地方交付税に依存する状態にあります。例えば、移住定住の促進、企業活動の活性化によって税収を引き上げていくことも重要です。一方で、歳出（支出）の抑制にも取り組まなければなりません。この間、有識者の方から意見をいただく事務事業評価を行い、一つひとつの事業を検証し改善につなげてきました。また、公共施設の統廃合や公共料金の適正化などは、住民の皆さんと対話をして納得解を導けるよう努めています。

「大きな刺激になった」と報告を受けています。民間人材とコラボレーションすることによって、学びを得

に何かを決まりきった枠の中で行っていくことは、社会の流れに町役場が追いついていきません。今後、チャレンジ精神や創意工夫を凝らして、住民の皆さんとコミュニケーションをとりながら課題解決にあたるため、人事交流や民間人材の登用などを行っています。
民間人材の登用は、昨年度、広報広聴戦略の策定において取り組んできた民間複業人材制度の活用をより進めていきます。広報広聴戦略の策定では、2人の方に参画いただき、戦略策定を担当した職員から

山添 藤真(40) YAMAZOE TOMA

1981年与謝野町生まれ。石田区在住。府立宮津高等学校卒業後、フランスに留学。2004年にフランス国立建築大学パリ・マラケ校に入学し、2008年にフランス国立社会科高等研究院パリ校2年次修了。2010年から2014年まで与謝野町議会議員を経て、2014年4月に与謝野町長就任。現在3期目。



住民の皆さんに一言

基本理念の一つに住民参画を掲げており、町役場が率先して住民参画の場を広げていく機会にもなると認識しています。
策定した広報広聴戦略に基づき、地域内や役場内の情報発信と、住民の皆さんと双方向のコミュニケーションを図っていきます。

して住民参画の場を広げていく努力をしていかなければならないと思っています。多様な住民の皆さんのまちづくりへの参画が叶うように、創意工夫を凝らした会議体の運営などを行っていきます。
与謝野町は、可能性と希望にあふれる町です。一緒にこの町を次世代に継承できるように、住民の皆さんのより一層のご協力をお願い申し上げます。



5 スポーツ交流 (指導へのチャレンジ)

アスリートスポーツコースの生徒たちによる事業。小学校単位の交流では、多くの子どもたちに体を動かすことの楽しさを伝え、希望制で実施している地域開放型スポーツクラブ「ジラソーレ与謝SC」では、よりハイレベルで密度の濃い交流をしています。実施にあたっては、想定・準備・指導のすべてを生徒が主体的に進めています。

4 進路実現支援 (自己実現)

将来の地域への「知の還元」を期待し、町の委託事業として総合型選抜(旧AO入試)対策講座を実施。2年連続で学年の30%を超える生徒が受講する人気講座となっています。



6 実践経験 (学校×社会でつくる「自分ならできる!」という感覚)

豊富な実践を通じて、答えのない社会を生きていく上で必要な力や納得解を見つける力、そして経験という誰にも奪われない財産を身に付けています。

▶ ①各教科における実践

地域人材・資源を活用した実習を通じて、今、勉強していることと社会とのつながりや、他者に貢献し感謝される経験を実感できる授業をつくっています。



▶ ②部活動出張パフォーマンス

文化系の部活動を中心に地域に活力を発信しています。高い企画力と表現力で、依頼団体の期待値を超える付加価値の高いパフォーマンスを見せています。



▶ ③よさの高校生広報室@みらい

地域の魅力ある人やイベント取材し、高校生ならではの感性を織り交ぜて町公式フェイスブックページで発信しています。本事業では、現場感覚・傾聴・質問・言語化の4つを大切にしています。



投稿記事は
コチラ



▶ ④町長対話授業・各種会議への参画

加悦谷学舎の町長対話授業は町に対する提案型で、「よさの高校生広報室@みらい」は対話授業から誕生。また、町が主催する産業振興会議、よさの地域デザイン会議に生徒が参画することで、主権者意識の向上に加え、会議そのものの活性化にもつながっています。



府内初の学舎制を導入

全国的に少子化が進む中、丹後地域では、平成28年ごろから高校再編の具体的な議論が持ち上がり、令和2年4月に加悦谷高校は宮津高校と合併し、府内初となる学舎制を採用した「宮津天橋高校加悦谷学舎」として新たな歴史を刻むこととなりました。今回の統合は、両学舎ともに幅広い進路に対応できる普通科として存続したこと、かつ、各学舎で特色ある教育が認められていることがポイントです。



町長対話授業

加悦谷学舎

取り組んでいる6つの特色ある活動

高校魅力化推進事業がスタートした平成29年度以降、「子どもたちのためになること」を大切に、学校だけではなく町も生徒の成長を応援してきました。加悦谷学舎で実施している取り組みを紹介します。

1 放課活動 (基礎から積み上げる学び)



加悦谷学舎の授業はすべて6限ですが、放課後を活用して学力の伸長はもちろんのこと、進学や就職など、生徒の目標や課題に応じた講習を実施しています。また、小規模少人数のメリットをいかし、丁寧な面談を通じて、生徒の感情の背景まで理解できるよう努めています。

2 地域探究 (自己理解)

地場産業や地域の祭りは、強みや魅力があるから数百年に渡り続いてきた経緯があります。身近にある教育資源を自分の人生にいかすという観点で学ぶことによって、自分の強みや弱み、自分にしかない価値など、自己理解につながる探究を推進しています。



3 キャリア教育 (目標から逆算する学び)

進路探究講座では、自立した人生を送るために必要な「自分軸」をつくる学びを実施しています。また、「Kayadani 仕事図鑑」では、生徒の興味がある分野の職業に従事している地元の方を講師に迎え、対話や質疑応答を通じて、仕事に対する意識の向上や進路の明確化を図る機会としています。



声 生徒の声 & 地元講師の声

- 世界に出品していたり、有名な方とコラボしていたりすごいと思った。織物をしている家族を尊敬しようと思いました。(探究「丹後ちりめん」)
- こんな小さな町で全国初のことがあってびっくりしました。すごく誇りに思います。(探究「与謝野町の農業」)
- 私たち大人が学校という場でもっと対話をして地域を伝えていかなければと思いました。(就職講話「仕事の意義、地元の仕事を知る」)



令和4年度入庁

新規採用職員紹介

石川保育所 ▶ **若野 千晶**

四 季折々表情の変わりゆく自然豊かな町で、元気いっぱいの子どもたちと一緒に成長できることをとてもうれしく思います。子どもたち一人ひとりの「その子らしさ」を大切に、心も体ものびのびと育む保育ができるよう頑張ります。

Wakano Chiaki

観光交流課 ▶ **矢野 聖菜**

移 住定住事業、国際交流事業、地域おこし協力隊事業などを担当します。先輩方に教えていただきながら、地域の皆さんに頼っていただける職員になれるように精一杯頑張っています。

Yano Seina

福祉課 ▶ **松田 翔子**

介 護高齢係で介護保険の申請に携わる業務を担当します。約10年振りに生まれ育った与謝野町に戻り、働くことを大変うれしく思います。早く地域の皆さんの力になれるように精一杯頑張ります。

Matsuda Shoko

社会教育課 ▶ **清原 啓護**

重 要な文化財を多く有する与謝野町で学芸員として仕事ができることをうれしく思っています。文化財を守り、後世へと伝えていくだけでなく、その魅力を多くの人に知ってもらえるように頑張ります。

Kiyohara Keigo

山田保育所 ▶ **羽瀨 彩代**

子 どもたちや保護者の方、周りにいる人に元気を与えられる職員になるため、笑顔と明るさを忘れず、気持ちの良いあいさつを心がけます。子どもの気持ちに寄り添ったり、やってみたい気持ちを大切にしたい保育ができるよう頑張ります。

Habuchi Sayo

国民健康保険診療所 ▶ **西田 三知江**

生 まれ育った与謝野町に戻り働くことを大変うれしく思います。頼りがいのある明るく元気な看護師を目指します。患者さんに寄り添い、迅速な対応ができるよう精一杯頑張ります。

Nishida Michie

建設課 ▶ **谷口 裕城**

進 学をきっかけに与謝野町を離れましたが、与謝野町に戻り、住民の皆さんのために働くことを大変うれしく思います。先輩方から教えていただきながら、皆さんが安心安全に過ごせる町づくりをしていきたいです。

Taniguchi Yuki

国民健康保険診療所 ▶ **山根 彩加**

大 切な故郷である与謝野町のために働くことを大変うれしく思います。看護師として思いやりを持ち、住民の皆さんが安心安全に医療を受けることができるよう精一杯努力をして参ります。

Yamane Sayaka

企画財政課 ▶ **吉本 萌**

地 域コミュニティづくりのための補助金やよさのみらい大学業務を担当します。今は目の前にある仕事の一つずつ一生懸命取り組んでいきたいです。当事者意識を持ち、住民の皆さんの目線に立つて仕事のできる、親しみのある職員を目指していきます。

Yoshimoto Moyuru

保健課 ▶ **小巻 千晶**

生 まれ育った与謝野町で、住民の皆さんの生活と健康を支える一員として仕事ができることをうれしく思います。予防接種と骨粗しょう症に関する業務を担当します。前職の経験をいかし保健師として皆さんの力になれるよう精一杯頑張ります。

Komaki Chiaki

協働による学びと今後への期待

加悦谷学舎では、少人数による日々の丁寧な授業に加え、放課後を活用した基礎から積み上げる学び、キャリア教育などを通じた目標から逆算していく学びを効果的にかけ合わせ、一人ひとりの生徒の意欲や可能性を伸ばす教育を展開しています。生徒は学校だけではなく、町がつくる地域との接点も含めて、社会が求める総合的な人間力を培っています。そして、生徒もまた、その素直な感性で地域の人たちに多くの学びと元気を与えてくれています。

入学時は輝きを秘めた原石でも3年間の学びを通じて、自分の魅力を見つけて大きく光輝くことができます。町として、加悦谷学舎は地元の中学生や保護者の期待、要望に応えられる学舎であり、この学舎で育った生徒たちが、将来この地域の未来を明るく照らす希望の光になると願っています。加悦谷学舎は、加悦谷高校の歴史や伝統を継承する一方、新たなストーリーを描ける余白にあふれています。誰かに何かをやっても

らうのではなく、新たな学校を自分たちでつくりたい！というチャレンジ精神旺盛な生徒によって、加悦谷学舎の歴史が刻まれていくことを期待しています。

協働の成果

■ 地域探究

生徒の約70%がふるさとへの愛着度が向上したと回答。

■ キャリア教育・進路実現支援
推薦入試の合格率が3年間で約30%向上。

■ 総合型選抜対策講座を受講した生徒のうち約60%の生徒が、将来の地域貢献やUターンに興味があると回答。
(ここ数年、丹後・中丹地区への就職率は60%超)



令和3年度の進路状況

■ スポーツ交流・実践経験
町内で高校生との存在感を示す場面が増えたことによる地域の高校生に対する期待度の向上。

高校魅力化ビジョンが目指す未来

基本理念

「学社協働」～地域を創る人づくり 選ばれる学校から選ばれる町へ～

「可能性を信じて 一歩前へ！」

未来を切り拓くもうひとつの Passion Dream Challenge Achievement!
(情熱) (夢) (挑戦) (達成)

加悦谷学舎の前身である加悦谷高校は、地域住民・教員・行政の3者がお互いに一歩を踏み出し、協働によってできた学校です。協働とは、より幅広い組織同士が企画段階から一緒に練り上げ、交流することによって互いを高めていくことを意味しています。

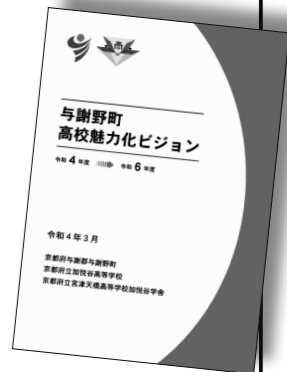
本事業においては、学校と社会が持つ力を結集し協働することによって、それぞれが抱える課題を力強く超えていける人をつくり、結果として、互いの魅力を高め、選ばれる学校づくりから選ばれる町に目指しています。なお、町としては「選ばれる」と「一歩前へ」をキーワードとしています。

では、もうひとつ「選ぶ」というキーワードがより一層重要になると考えています。

かつて、先人はこの地域に学校をつくるという道を選びました。時は流れ、町、高校とともに、名称や枠組みは変わりましたが、現在、町は魅力化という名称で、引き続き高校を支援する道を選んでいきます。しかし、選ぶという主語は、いつの時代でも町民の皆さんにあります。町全体の将来を考え、今という時代を担う責任を踏まえ、これから私たちが何を望み、どんな道を選ぶのか問われることとなります。



ビジョンの詳細はこちら



10人の職員が入庁しました。よろしくお願ひします。

住民の代弁者 16人が決定

与謝野町議会議員の任期満了に伴う一般選挙が、京都府知事選挙と同日の4月10日に行われ、選挙の結果、16人の議員の皆さんが選出されましたので紹介します。(50音順、敬称略、囲み数字は当選回数)



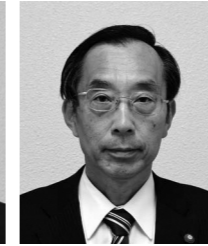
あだち たねお
安達 種雄
岩屋 / 無所属 / 76歳 ③



いえき いさお
家城 功
三河内 / 無所属 / 57歳 ⑤



いまい こうすけ
今井 浩介
三河内 / 無所属 / 40歳 ②



かわべ しんたろう
河邊 新太郎
石川 / 公明党 / 69歳 ③



すぎがみ ただよし
杉上 忠義
算所 / 無所属 / 76歳 ③



たかおか のぶあき
高岡 伸明
弓木 / 日本共産党 / 63歳 ③



ながしま ひろみ
永島 洋視
金屋 / 日本共産党 / 67歳 ②



なみえ ひであき
浪江 秀明
石川 / 無所属 / 59歳 ②



ふじた しろう
藤田 史郎
加悦 / 無所属 / 77歳 ②



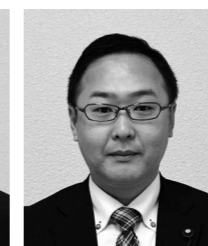
のむら しょうはち
野村 生八
三河内 / 日本共産党 / 69歳 ③



みた よしゆき
三田 義幸
男山 / 無所属 / 54歳 ①



みやざき ゆうへい
宮崎 有平
岩滝 / 無所属 / 71歳 ④



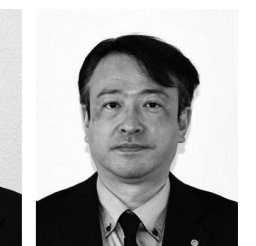
やまざき まさふみ
山崎 政史
岩屋 / 無所属 / 40歳 ②



やまざき りょうま
山崎 良磨
幾地 / 無所属 / 43歳 ②



わたなべ かんじ
渡邊 貫治
岩滝 / 無所属 / 73歳 ③



わだ ひろゆき
和田 裕之
石川 / 無所属 / 47歳 ④

定

数16人に対し17人が立候補した与謝野町議会議員一般選挙。4月5日の告示日以降、町内全域で熱い選挙戦が繰り広げられました。開票作業は、投票日の午後9時から野田川体育館で行われ、有線テレビと町公式ホームページで開票速報を公開しました。11日には、与謝野町長、与謝野町議会議員一般選挙の当選証書付与式が本庁舎で行われ、町長と町議会議員16人に、選挙管理委員会の坂根道崇委員長から当選証書が手渡されました。任期は、どちらも4月16日から令和8年4月15日までの4年間。5月10日の臨時会から新たな体制で与謝野町のまちづくりに取り組んでいきます。

開票結果

■ 有権者数	17,549人	和田 裕之	484票
■ 投票者総数	11,113人	高岡 伸明	453票
■ 投票率	63.33%	三田 義幸	426票
■ 候補者別得票総数		杉上 忠義	392票
		渡邊 貫治	351票
		浪江 秀明	294票
		江原 英樹	284票
		永島 洋視	888票
		山崎 政史	826.485票
		野村 生八	776票
		安達 種雄	750票
		今井 浩介	642票
		宮崎 有平	600票
		藤田 史郎	557票
		有効投票数	10,636票
		無効投票数	477票
		あん分の際切り捨て票数	0.001票
		投票総数	11,113票

図書館へ行こう！

BOOKS

貸し出しが多かった本 BEST5

昨年4月1日から今年3月31日までに11万5,749冊（昨年度10万2,504冊）の本を貸し出しました。この1年間で、貸し出しが多かった本「BEST5」を紹介します。

※ 人気の本は貸し出し中の場合がありますが、「予約」をすれば図書が返却され次第、取り置きできます。ホームページから貸出状況の確認や予約（要事前登録）ができます。

一般書

第1位

『その扉をたたく音』

瀬尾まいこ／集英社



本屋大賞を受賞した著者の代表作。人生の行き止まりで立ちすくんでいる青年と、人生の最終コーナーに差し掛かった大人たちが奏でる感動長編。

第2位 『52ヘルツのクジラたち』
町田そのこ／中央公論新社

同 『白鳥とコウモリ』 東野圭吾／幻冬舎

第4位 『夜明けのすべて』 瀬尾まいこ／水鈴社

第5位 『ドキュメント』 湊かなえ／KADOKAWA

児童書

第1位

『超高層ビルのサバイバル1』

ポップコーン・ストーリー／朝日新聞出版



世界でもっとも高いビル「摩天楼タワー」をオープン1日前に見学できることになったジオと仲間たち。しかし、ビルのオーナーに怪しい手紙が届き…。サバイバルキングのジオとともに高層ビルの安全対策を学ぼう。

第2位 『水族館のサバイバル2』 ゴムドリ co.／朝日新聞出版

第3位 『おしりたんてい おしりたんていのこい!』

トルル／ポプラ社

同 『おしりたんてい カレーなるじけん』トルル／ポプラ社

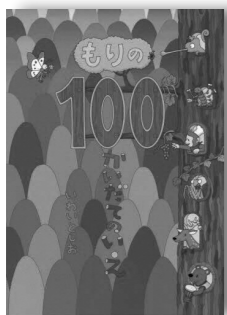
同 『世界史探偵コナン1』 青山剛昌原作／小学館

絵本

第1位

『もりの100かいだてのいえ』

いわいとしお／偕成社



大人気「100かいだてのいえ」シリーズの第5弾。今回の舞台は森の中。大きな木の中のある森の100階建ての家に暮らすのは、いったいどんな生き物たちでしょう。

第2位 『あきらがあげてあげるから』 ヨシタケシンスケ／PHP研究所

第3位 『そらの100かいだてのいえ』 いわいとしお／偕成社

第4位 『そらめくんのまいにちはたからもの』 なかやみわ／小学館

第5位 『ぎょうれつのできるスパゲッティやさん』

ふくざわゆみこ／教育画劇

今年の本屋大賞



『同志少女よ、敵を撃て』

逢坂冬馬／早川書房

第2次世界大戦中の独ソ戦におけるソ連軍で実際に活躍した女性狙撃兵たちを題材に戦争を描いた話題の1冊。

●問い合わせ先／与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087

●開館時間／午前10時～午後6時 ●休館日／毎週月曜（本館・加悦分室）、毎週火曜（野田川分室）、毎月最終木曜（共通）

健やか広場 ▶ 年に1度は健(検)診を受けましょう

がんばってます！消防団 編集 ● 本部

▶ 新幹部、新入団員に辞令を交付 ～14人の団員が新たに入団～

4月3日、野田川森林公園において、令和4年度与謝野町消防団辞令交付式を行いました。今年は、1期2年の1日目となり、山添町長から木村正典団長に辞令が交付されました。その後、木村団長から幹部と新入団員に辞令を交付し、新入団員を代表して

第6分団の浪江信明団員が「不公平並びに偏見をさげ、何人も恐れず良心に従って忠実に消防の業務を遂行することを厳粛に誓います」と力強く宣誓し、14人の団員が消防団員としての新たなスタートをきりました。

● 新入団員紹介 (令和4年4月1日付け、敬称略)

- ▼ 第2分団
塩見 彰
- ▼ 第3分団
山岡 岳志
- ▼ 第4分団
今田 裕介
- ▼ 第5分団
伊達 大智
- ▼ 第6分団
浪江 信明
- ▼ 第7分団
杉本 貴矢
- ▼ 第8分団
川合 大晴
- ▼ 第9分団
小柴 雄揮
- ▼ 第10分団
原 惇

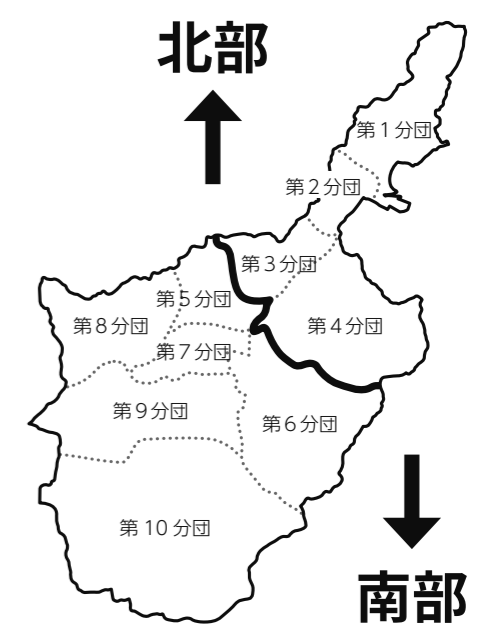


宣誓書を読み上げる浪江団員

▶ 火災発生時における出動区分

火災発生時は北部と南部の2つの地域に分け、その地域に属するすべての分団と、隣接する分団が出動します。

火災発生場所	出動分団
岩滝地域	北部地域の全分団
山田地区	北部地域の全分団と第5分団
石川地区	北部地域の全分団と第5・6分団
幾地・四辻地区	南部地域の全分団と第3・4分団
湍江・明石・香河地区	南部地域の全分団と第4分団
三河内・岩屋・算所・加悦奥・加悦・後野・与謝・滝・金屋地区	南部地域の全分団



* 第1～4分団が「北部地域」、第5～10分団が「南部地域」です

特定健診

身近に潜む生活習慣病

高血圧や脂質異常、高血糖などの生活習慣病は、自覚症状がほとんどなく進行していきます。進行した状態から治療を受けるよりも、早い段階から生活習慣の改善や治療にかかるほうが、治療費や通院にかかる時間、心身への負担も軽減できます。

特定健診は、メタボリックシンドローム(以下、「メタボ」)の発見と予防が目的です。メタボ

「忙しくて健診を受ける時間がない」「健康だから、若いから大丈夫」と健診を後回しにしているませんか？
健診結果は体からのメッセージ。生活習慣を見直す機会に、町の健(検)診をご活用ください。

は、過剰な内臓脂肪が原因で、高血圧・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病にかかりやすくなる状態です。放置すれば、脳梗塞や心筋梗塞などにつながる恐れがあります。血圧や血液検査、腹囲などから、体からの病気のサインを早期に見見することが出来ます。与謝野町国保特定健診受診者の健診結果から、40、50歳代で血圧および血糖、脂質のリスク保有者が増加傾向にあるので、若いうちから健康管理を心がけましょう。



コロナ禍だからこそ受診を

生活習慣病は、新型コロナウイルス感染症の重症化のリスク因子とされています。健(検)診は、不要不急の外出ではありません。コロナ禍でも安心安全に受診できる体制を整えています。

がん検診

2人に1人はがんになる時代

がん検診を受診することで、死亡率が減少することがわかっています。受診する主なメリットは、次の2つです。



- 早期発見・早期治療による効果
- がん以外の病気も見つけることができ、治療に結び付けることができる

がんを早期に見つけることが目的ですが、がんになる前段階の病変(ポリープや潰瘍など)が見つかることがあります。見つかった病変は、必要に応じて治療すると、がんを予防できます。がん検診は、低い確率で起こるデメリットよりも、がんで亡くなることを防ぐメリットが大きいことが証明されていますので、定期的に受診しましょう。

町の特定健診の対象者

- 与謝野町国民健康保険加入者(30～74歳)、生活保護世帯
- * 社会保険加入の40～74歳の被扶養者の方は、会社等から発行される「特定健康診査受診券」を提出すれば、町の特定健診を利用できます
- * 75歳以上の方は、後期高齢者健診となります

健診申込受付
5/31 火

健診申込書を送付しています

令和4年4月1日時点で、20歳以上の女性、39歳以上の男性(与謝野町国民健康保険加入者は30歳以上)を対象に各種健診申込書を送付しています。20～39歳の女性で、令和3年度に子宮頸がんや骨粗しょう症

受診無料

検診を受けられた社会保険加入の本人様は、検診対象外となるため健診申込書の発行はありません。与謝野町に転入して対象者に該当する方、または健診申込書を紛失した方は、保健課(☎43-9022)までご連絡ください。

功績・功労をたたえて

●第49回衆議院議員総選挙に係る総務大臣表彰

坂根 道崇さん

坂根道崇さん(石川)は、平成20年10月に与謝野町選挙管理委員会委員に就任され、現在まで約13年にわたり在職し、また、26年6月からは同委員会の委員長として、各種選挙において適正

かつ円滑な管理執行にご尽力されました。この功績が認められ、この度、第49回衆議院議員総選挙に係る総務大臣表彰が授与されました。長年のご尽力に対し、心から感謝申し上げます。



●旭日単光章(叙勲)

依田 米一さん

依田米一さん(金屋)は、昭和45年12月に加悦町議会議員に初当選されて以来、57年12月までの3期12年にわたり在職され、加悦町議会副議長等の要

職を歴任され、町政並びに地方自治の発展および住民福祉の向上に多大な貢献を果たされました。長年のご尽力に対し、心から感謝申し上げます。



高校生手作りの絵本を寄贈いただきました

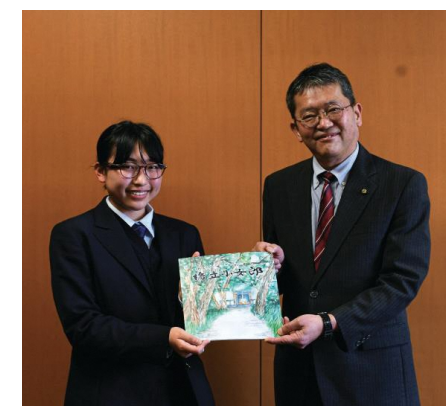
丹後の民話「橋立小女郎」

社会教育課 ☎43-9026



4月5日、宮津天橋高等学校宮津学舎3年の伴海遥花さん(三河内)から、自身が手がけた絵本を町内の図書館や学校などに寄贈いただきました。

昨年「総合的な探究の時間」の授業を活用して、小学生のときから夢だった絵本作成に挑戦。天橋立を舞台にした「橋立小女郎」を基に、地域の方にヒアリングを行い自身でストーリーを考え、絵付けを行ない、総合地球学研究所の支援を受けて完成しました。伴海さんは「多くの方に協力をお願いでき完成した絵本。この絵本を読んだ子どもたちが、丹後の歴史に触れるたびに思い出してくれる絵本になってほしい」と話してくれました。この度のご寄贈、誠にありがとうございました。



長島教育長(右)に絵本を手渡す伴海さん(左)

地域おこし協力隊通信(67)

魅力化コーディネーター 長谷川隊員 ☎ 社会教育課 ☎43-9026



宮津天橋高校加悦谷学舎(以下、「加悦谷」)で活動している地域おこし協力隊の長谷川です。

以前もお伝えしましたが、改めて私に関わる高校魅力化推進事業(以下、「本事業」)の概要と高校生の可能性についてお話しします。

本事業は、町の最高学府であり、唯一の高校である加悦谷で展開している事業です。高校が町からなくなると、人口減少や少子化がさらに加速することが分かってい

ます。それを緩和するためにも、町にとって加悦谷は非常に大切な資源の一つです。加悦谷の発展が町の発展にもつながることから、府立高校であつても町として、本事業をとおして加悦谷を応援しています。

私はこの3年、微力ながら高校生が地域のヒト・モノ・コトに触れる機会を作ってきました。その中で、高校生の力がいかに地域に力を与えるものか、その可能性を見てきました。今回は、その事例を2つ紹介します。

ひとつは、加悦谷の生徒が小学生にトレーニング指導をするスポーツ交流です。



もうひとつは、織物に興味を持ち、放課後に織物技能訓練センターで講習を受けた生徒。織物の先生が生徒の熱意に刺激されて「頑張ってくれる若い人がいるなら、いく



織物の基礎を学ぶ生徒

らでも教える」と、全力で生徒に指導くださいました。デジタル機器をすぐに使いこなす生徒の姿に驚き、若者の可能性を感じる場面も多々ありました。そういう場面を見ると、地域を元気にするには、高校生にあると感じずにはいられません。

今年度は、昨年度以上に地域と高校との連携を強めていきますので、応援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

訂正とお詫び

広報よさの4月号(No.194)において、誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

【訂正内容】

P2の加悦谷高校の校章。正しくは、右記の校章です。



与謝野町役場 ☎43-9000 (代表)

- 総務課 ☎43-9010
- 防災安全課 ☎43-9011
- 商工振興課 ☎43-9012
- 会計室 ☎43-9013
- 建設課 ☎43-9014
- 企画財政課 ☎43-9015
- 観光交流課 ☎43-9016

加悦庁舎 ☎43-9001 (代表)

- 税務課 ☎43-9020
- 福祉課 ☎43-9021
- 保健課 ☎43-9022
- 農林課 ☎43-9023
- 子育て応援課 ☎43-9024
- 教育委員会 学校教育課 ☎43-9025
- 教育委員会 社会教育課 ☎43-9026
- 議会事務局 ☎43-9027
- CATVセンター ☎43-9028

野田川庁舎 ☎43-9002 (代表)

- 住民環境課 ☎43-9030
- 上下水道課 ☎43-9031

お悔やみ

(敬称略)

町内に配布している広報紙には掲載しています。

町内に配布している広報紙には掲載しています。

おめでとう



ございます (敬称略)

まちのうごき

令和4年3月末現在



人口 20,438人 (-137)
男 9,799人 (-79)
女 10,639人 (-58)
世帯数 8,957戸 (-21)

※括弧内は前月比

※ この欄で紹介する出生とお悔やみは、3月16日から4月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。



人間ドック費用の一部を支援します

病気の予防や早期発見、早期治療と健康管理を図るため、人間ドックの費用の一部を補助します。

- **対象者** 与謝野町国民健康保険および後期高齢者医療制度の加入者
- **利用者要件**
 - ▼ 町が実施する健診を今年度受けていない方
 - ▼ 国民健康保険税や後期高齢者医療保険料を完納している世帯に属する方
 - ▼ 国民健康保険に加入の方は30歳以上の被保険者
 - ▼ 同一年度内に当該事業の利用がない方
- **申請期限** 12月28日(水)
* 人間ドックの受診は令和5年3月末まで可能
- **検診科目** 基本健診科目、オプション科目(PET検診、前立腺がん検診、乳がん検診、子宮がん検診、骨密度検診等)
- **費用負担** 【基本健診費用】 町…9割負担
利用者…1割負担(退院の際、医療機関にお支払いください)
* 基本健診は、4万円程度が費用総額となるので、利用者は約4,000円の負担となります
【オプション科目】 町…5割負担 利用者…5割負担
- **利用方法** ①利用を希望する方は、印鑑・保険証を持参のうえ、保健課(加悦庁舎)までお越しください。健診日時や医療機関等の調整を行い、利用申込書の記入・提出をお願いします。
②後日、人間ドック利用券を送付しますので、利用日に利用券を医療機関へ持って行ってください。
- **医療機関** いわさく診療所、市立福知山市民病院、京都ルネス病院、京都府立医科大学附属北部医療センター、丹後中央病院、舞鶴赤十字病院、京都予防医学センター、御池クリニック、四条烏丸クリニック
- **その他** 年度途中で内容が変更となる場合があります。
  保健課 ☎ 43-9022

Tango Good Goods 認定希望商品の募集

アミティ丹後では、「Tango Good Goods」の認定希望商品の募集を行なっています。



- **対象者** 丹後2市2町内に本拠を置く製造業者(企業、組合、団体、個人、任意グループなど)。ただし、応募対象商品の販売者は、推薦人(製造業者の承諾が必要)として応募も可能。
- **対象商品** 丹後地域内(宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町)で製造もしくは企画された商品。
- **料金** 応募1件につき1,500円
  5月24日(火)から7月15日(金)までに、アミティ丹後のホームページにある応募票に必要事項を記入し、カタログや資料等がある場合は添えて、持参または郵送でアミティ丹後(☎ 0772-72-5261)へ。

一人暮らし高齢者・高齢者世帯等大型ゴミ運搬支援事業



対象者

- 町内に住所のある高齢者、または障害のある方のみで構成される世帯の方
 - 家族や近親者等に大型ごみの運搬を頼めない事情がある方
- 料金** 無料 * 廃棄物処理手数料は本人負担

実施の流れ

- 利用を希望する方は、役場各庁舎にある申請書に必要事項を記入のうえ、提出してください。
- 申請の後、民生委員・児童委員に実情を確認するなどの調査を行ったうえで支援の可否を決定し、申請者に通知します。
- **その他** 1世帯につき年1回実施し、実施日時は町が指定します。
-   住民環境課 ☎ 43-9030

【クアハウス岩滝】物品購入に係る見積業者の登録

- 登録資格** 町内に本店または支店を有する事業所
* 対象物品を継続的に小売・販売・保守している業者
- 購入予定物品** 水着用脱水機2台
- 納品期限** 7月15日(金) * 予定
  5月24日(火)午後3時までに、町公式ホームページまたは観光交流課にある見積業者登録申請書に必要事項をご記入の上、観光交流課(☎ 43-9016)へ。

今月の納期

5月31日(火)まで
固定資産税第1期
軽自動車税全期

滞納税相談窓口

京都地方税機構 丹後地方事務所
京丹後市役所 大宮庁舎 3階
 ☎ 0772-68-1041



【新型コロナワクチン】集団接種を終了します

与謝野町では、5月21日(土)をもって新型コロナワクチンの集団接種(3回目接種)を終了します。集団接種を希望する方はお早めに予約をお願いします。

- **対象者** 2回目接種から6ヵ月以上経過している方
- **会場** 野田川わーくぱる
- **実施日**

日にち	接種時間
5月14日(土)	午前9時~11時、午後2時~4時
5月15日(日)	午前9時~11時、午後2時~4時
5月18日(水)	午後1時~3時
5月21日(土)	午前9時~11時、午後2時~4時

- **予約方法** 【Web予約】
接種希望日の5日前までに予約してください。
URL <https://yosano-wakuchin.kca.or.jp/rms/>




- **電話予約**
与謝野町コロナワクチン受付相談センター(☎ 43-2822)まで電話してください。
* 午前9時~午後5時(土日祝日除く)
- **その他** かかりつけ医での接種を希望する方も、接種を希望する医療機関までお早めに予約をお願いします。

このお知らせは、4月24日(日)の折り込みチラシと同じ内容です



集団接種終了後に接種を希望する方 — 与謝野町指定医療機関での個別接種対応となります —

与謝野町内の指定医療機関で接種する「個別接種」により実施します。ただし、医療機関と調整のうえ、接種できる医療機関や接種日時などを限定して実施します。詳しくは、与謝野町コロナワクチン受付相談センターまでお問い合わせください。

 与謝野町コロナワクチン受付相談センター (保健課内) ☎ 43-2822
時間 午前9時~午後5時(土日祝日除く)

消費生活 Information


▶▶ クレジットカードの利用は計画的に

令和4年4月1日から成人年齢が引き下げられ、18歳(高校生を除く)からクレジットカードを持てるようになりました。多くの人が利用しているクレジットカードですが、便利な反面、支払い方法を確認せずに使用すると想定外の手数料を請求されることがあります。また、利用明細を確認しておかないと支払い残高が高額になっても気付かないことがありますので、注意しましょう。

支払方法の種類

- **一括払い** 購入商品の代金を一回で全額支払うこと
- **分割払い** 購入商品の代金を複数回に分けて支払うこと
- **リボ払い** あらかじめ決めておいた一定の金額を毎月支払うこと
* 分割払いとリボ払いには手数料があり、支払いの負担が大きくなる点に注意が必要です

カード会社によっては、一括払いで決済した後、ホームページなどで分割払いやリボ払いにできる場合がありますが、計画的に利用することを心がけましょう。

 宮津与謝消費生活センター ☎ 22-2127 / 消費者ホットライン ☎ 188





まちの話題お届けします

● 丹後環境シンポジウム 地産地消と地域連携の促進に向けて

3月26日、丹後の豊かな環境づくり推進会議による「丹後環境シンポジウム ー再発見！ 丹後の環境そして未来へー」が、生涯学習センター知遊館で開催されました。

第1部は、カミヤヅラボ（宮津市）、宇川加工所（京丹後市）、本庄小学校（伊根町）、与謝野町商工会まちグル部の4団体が活動内容を発表。まちグル部代表の岩西拓男さん（クッチーニオーナーシェフ）が、まちグルイベントを始めた経過やこれまでの活動内容、今後の展望について発表されました。

第2部は、福知山公立大学経営学部の杉岡秀紀

准教授をコーディネータに、第1部で活動発表を行った方々によるパネルディスカッションが行われ、活動を行うに至った経過を深掘りするなど、新たな気づきが生まれる場となりました。参加者は、丹後地域で活動する団体の取り組みを知り、環境保全への意識を高めていました。



活動発表する岩西さん

● 高校生みらい会議最終報告会 学校・市町の垣根を超えた取り組みを報告

3月19日、綾部市ものづくり交流館で、高校生みらい会議最終報告会が開催されました。

本事業は、令和3年度から本格実施したもので、京都府北部への移住・定住促進に取り組む地域連携事業の一環として企画し、若者のふるさとへの関心や愛着をはぐくみ、将来的な人口流出抑制やUターンの促進につなげることを目的として実施されています。

令和3年度の高校生みらい会議は、「学校を超えた7市町の高校生が主役となって今後やってみたいこと」をテーマに、京都府北部5市2町の高校12校が参加。報告会では、約6ヵ月間学校や市町の垣



成果報告する高校生

根を超えて、4つのグループに分かれて意見を交わし、また、実際に地域に出向き「自分たちの考えたテーマはどうしたら実現できるか」について取り組んだ成果を報告しました。生徒たちは各グループの発表後に質問するなど、活発な報告会となりました。

● 旧加悦鉄道加悦駅舎リニューアルオープン 加悦鉄道の魅力がパワーアップ



新たに展示された当時の制服

2号機関車などを保存展示する車庫を建築するため休館していた旧加悦鉄道加悦駅舎が4月16日、再開しました。

再開に当たり、明治期製造の貴重な蒸気機関車と

木造客車を間近で見られるようになり、また、新たに加悦S L広場で展示していたレールコレクションや加悦鉄道で使用されていた当時の制服などが加わりました。当日は親子連れなどで賑わい、訪れた来場者からは「加悦S L広場がなくなったのは寂しいが、また2号機関車を見られてうれしい」との声が聞かれました。施設を管理運営するNPO法人加悦鉄道保存会の吉田博一理事長は「加悦鉄道は与謝野町の誇り。多くの方に見に来てほしい」と話してくれました。

【旧加悦鉄道加悦駅舎（旧加悦鉄道資料館）】

開館 土日祝日の午前9時～午後5時 ※ 入場無料

